国土交通省東北地方整備局
Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

もがみがわ
緊急治水対策
プロジェクト

記者発表資料

令和６年３月２８日
国土交通省東北地方整備局
山形河川国道事務所
山形県県土整備部

最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクトの進捗状況

～最上川本川・支川の河道掘削が完了しました～

令和４年８月出水により甚大な被害が発生したことから、再度災害防止のため対策を進めている「最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト」の進捗状況（令和５年度）について発表します。

〇氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策〇

＜河道掘削（河川水位を低下させ流下能力を確保）＞

・国管理区間の最上川本川（白鷹町～南陽市）において全体掘削量約１４万m3の河道掘削が全て完了しました。

・県管理区間の支川置賜白川（おきたましらかわ）や元宿川（もとじゅくがわ）などにおいて全体掘削量約１０万m3の河道掘削が全て完了しました。

＜災害復旧（被災した堤防や護岸の復旧）＞

・国管理区間の被災箇所１０箇所で工事が全て完了しました。

・県管理区間の被災箇所１００箇所全てで復旧工事に着手し、うち６５箇所で工事が完了しました。

＜災害復旧（再度災害防止のための河道整備）＞

・県管理区間の支川萩生川（はぎゅうがわ）・小白川（こしらかわ）（飯豊町）において流下能力の向上を図る河道整備（改良復旧）の約９割の区間で工事に着手し、令和７年度の完了に向け鋭意工事の進捗を図っています。

〇被害の軽減、早期復旧・復興のための対策〇

・「まるごとまちごとハザードマップの取組（長井市）」など、水害リスク情報の充実と普及等に向けたソフト対策を地域と連携し推進しています。

《発表記者会》山形県政記者クラブ、米沢記者クラブ、山形建設業界専門紙

問合せ先

〇東北地方整備局　山形河川国道事務所　TEL０２３－６８８－８４２１（代表）

副所長（河川）山影（やまかげ）　修司（しゅうじ）

〇山形県　県土整備部　河川課　TEL　０２３－６３０－２６２０（直通）

河川課長　鈴木（すずき）　賢一（けんいち）

最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト

～地形特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

令和4年8月出水により最上川上流部で甚大な被害が発生したことから、再度災害防止のための「最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト」を策定し、対策を実施。（全体事業費　約102億円（国管理区間約21億円　県管理区間約81億円）

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川区域での対策
- ・災害復旧※、白鷹地区・川西南陽地区で河道掘削を実施【国】
  ※最上川上流の全域を対象
- ・災害復旧、河道掘削等【県】

○集水域での対策
- ・内水調整池の整備【高畠町】
- ・準用河川の堤防整備及び河道掘削【川西町】
- ・田んぼダムの推進【長井市他】

■被害対象を減少させるための対策

○氾濫域での対策
- ・立地適正化計画の作成及び立地適正化計画に基づく安全な場所への居住誘導等【高畠町】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○氾濫域での対策
- ・避難確保計画作成支援【米沢市他】
- ・まるごとまちごとハザードマップの促進、マイタイムラインの普及促進【長井市他】
- ・防災ラジオの普及、災害情報ツールの多重化【南陽市他】

※具体的な対策内容やスケジュールについては、今後の調査・検討等により変更となる場合があります

【対策箇所】



【R4.8最上川沿いにおける内水浸水面積】
A=438ha



※災害復旧箇所は、代表箇所を表示しています。

＜事業スケジュール＞

緊急治水対策（R7年度まで）

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削（国）			約14万m3完了	
	河道掘削等（県）			浸水箇所、支川の掘削完了	
	災害復旧（国）※最上川上流の全域を対象			災害復旧完了	
	災害復旧・河道整備（県）				
	内水調整池、準用河川の堤防整備等（町）				
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の作成による安全な場所への居住誘導等（高畠町）		計画作成（R4）		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化				
	水害リスク情報の充実と復旧				

最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト

～地形特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策　【白鷹町・川西町・南陽市】

河道掘削（国）

○最上川本川の河川水位を低下させるため、西置賜郡白鷹町鮎貝地先～南陽市梨郷地先で約１４万m3の「河道掘削」及び「樹木伐採」が全て完了。

白鷹町鮎貝地区

着手前

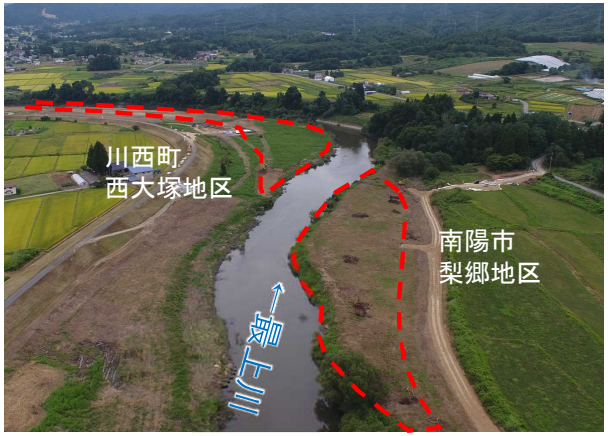


掘削完了



南陽市梨郷地区

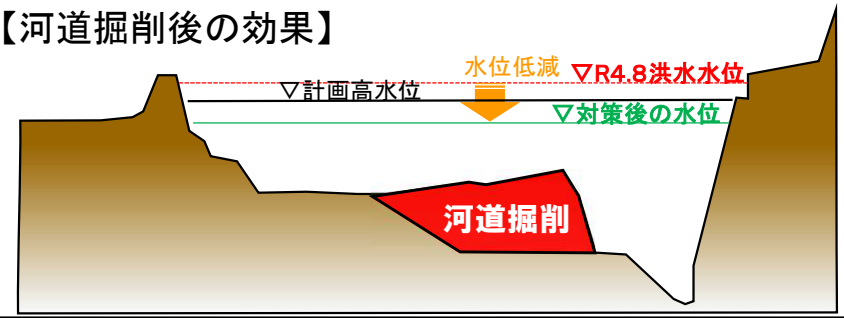
着手前



掘削完了



【河道掘削後の効果】



河道掘削によりR4.8洪水時の水位を計画高水位以下まで低下。

掘削状況

川西町西大塚地区



最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト

～地形特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策　【長井市・川西町ほか】

災害復旧（国）

○最上川本川の被災した堤防や護岸の災害復旧箇所１０箇所全てで復旧工事が完了。

被災状況　川西町高山地区



工事完了　川西町高山地区

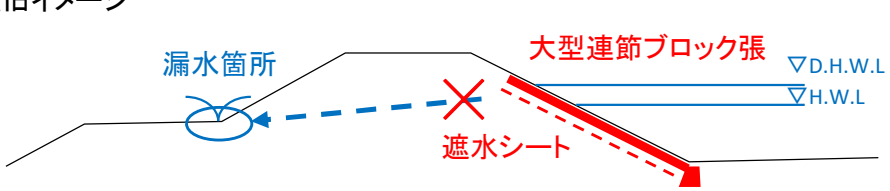


浸透対策箇所の表法面は覆土により大型連接ブロック張を被覆

工事状況　川西町高山地区



復旧イメージ



堤体内への河川水の浸透を表法面を被覆することで抑制し、漏水を防ぎ堤体の安全性を向上

最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト

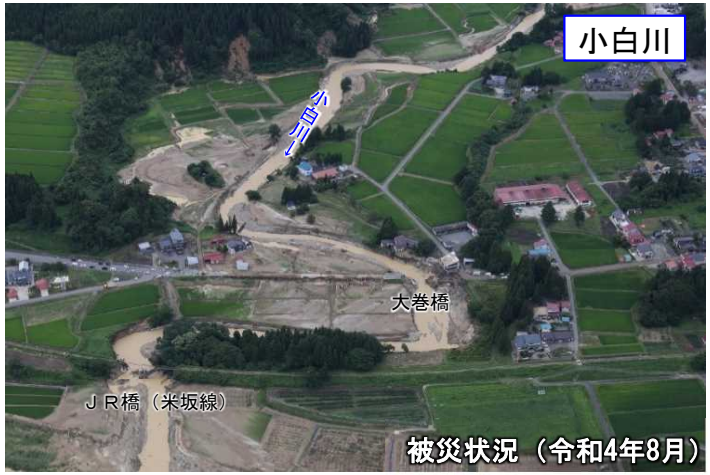
～地形特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策　【飯豊町】

最上川の支川における対策（県）

災害復旧(河道整備)

- ○ 大規模な溢水被害が生じた萩生川と小白川において、再度災害を防止するため、流下能力の向上を図る「改良復旧」を実施中
- ○ 令和５年６月に河川整備計画を策定、約９割の区間で工事着手
- ○ 事業期間：令和４年度～令和７年度



被災状況（令和4年8月）


小白川施工状況（令和5年7月）


報道機関への現地説明会（令和5年7月）



被災状況（令和4年8月）


小白川施工状況（令和6年3月）


萩生川施工状況（令和5年12月）

最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト

～地形特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策　【飯豊町・米沢市　他】

最上川の支川における対策（県）

河道掘削等

1. 目的

出水による堆積土砂や流木の撤去を行うことで、河川の流下能力を確保し、浸水被害を防ぐ。

2. 取組

置賜白川や元宿川など、県が管理する支川の河道掘削等を実施する。

事業期間：令和４年度～令和５年度

【河道掘削のイメージ】







災害復旧

1. 目的

豪雨に伴い被災した河川管理施設（護岸、護床など）の早期復旧を図る。

2. 取組

犬川や鬼面川など、県が管理する支川において、災害復旧を実施する。

事業期間：令和４年度～令和６年度





最上川上流（置賜地域）緊急治水対策プロジェクト

～地形特性を踏まえた河川整備と農業や土地利用・住まい方と連携した治水対策の推進～

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

まるごとまちごとハザードマップの取組　長井市 舟場･屋城町･東町

まるごとまちごとハザードマップ とは、自らが生活する地域の水害の危険性を実感できるよう、居住地域をまるごとハザードマップと見立て、生活空間である まちなか に、洪水・内水に関する情報、避難所及び避難誘導に関する情報を表示する取組です。
長井市舟場・屋城町・東町地区は、これまでに検討を重ねてきた まるごとまちごとハザードマップ の看板をまちなか に設置しました。

日　付
令和5年8月9日

設置箇所数
3地区で27箇所

参加機関
①長井市中央学童クラブ
②舟場・屋城町・東町
　地区自主防災会
③長井市
④山形河川国道事務所









浸水深看板設置状況

令和4年8月の大雨による浸水範囲を盛り込んだハザードマップ作成　飯豊町

令和４年８月の大雨で広い範囲で浸水被害が出た飯豊町は、排水機能が追いつかなくなる 内水氾濫 で浸水した地域を盛り込んだハザードマップを作成しました。
消防や地域の自主防災組織などに豪雨の際に浸水した地域について聞き取り調査を実施し作成。
避難経路等の参考や、自主防災組織等の活動として地域内の危険箇所点検などへの活用が期待されます。

配布年月
令和5年7月6日～

配布世帯
飯豊町全世帯



出典：飯豊町ホームページ

最上川上流危機管理演習（置賜地区）の実施　米沢市・南陽市・高畠町・川西町

置賜地区の4市町と県、国が集まり、令和2年7月、令和4年8月の山形県内での水災害など大規模災害を想定した実践的な水害対応訓練を実施しました。
国、県も加わり、地域個別課題を協議するなど、多機関・多部署の連携を図る演習を実施しました。

日　付
令和5年7月12日

参加機関
米沢市、南陽市、高畠町、
川西町、山形県、
山形河川国道事務所

演習方法
簡易ロールプレイング訓練
課題解決型DIG訓練


3会場に別れて演習を実施。


前半の部：簡易ロールプレイング方式


後半の部：課題解決型方式


会場間はオンラインで接続し、演習全体の一体感を維持。


市町や国・県で互いに情報を共有し、実災害を想定した対応を行った。


各市町ごとに話し合った結果について、評価者による講評を受けた。

水害リスク情報の充実　ワンコイン浸水センサ導入　川西町

国、県で河川水位状況把握のため設置している危機管理型水位計に加えて、町において、ワンコイン浸水センサ実証実験（国土交通省）に参加し、内水浸水常襲箇所の浸水状況把握のための浸水センサを設置しました。

取組説明会（令和5年度 重要水防箇所合同巡視）
重要水防箇所合同巡視の際、ワンコイン浸水センサの仕組みや特徴を説明し、浸水センサのデモを実施しました。

実 施 日　令和5年5月25日



重要水防箇所合同巡視の際に行われた取組説明会の様子

ワンコイン浸水センサの設置
令和5年7月、川西町内27箇所にワンコイン浸水センサを設置しました。それぞれのセンサは路面から水位が5cm、10cm等に設置し、それぞれの水位に達した際に反応する仕組みとなっています。


川西町で設置されたワンコイン浸水センサ


出典：川西町ホームページ